



# 大東小学校 学校運営協議会

# コミュニティ・スクールだより

令和7年6月26日号

令和4年度より大東小学校はコミュニティ・スクールとなり、今年度が4年目です。コミュニティ・スクールとは、地域住民や保護者等が学校運営に参画し、連携・協働して学校運営に直接関わる仕組みである「学校運営協議会」を設置した学校のことを言います。6月19日(木)に、今年度1回目の学校運営協議会を開催しました。




それでは、学校運営協議会の委員を紹介します。(敬称略)

- |                           |                            |
|---------------------------|----------------------------|
| ◎会長：榎本 武 (大東公民館長)         | ◎副会長：山崎 徳平 (青少年育成大東地区会会長)  |
| ◎荒川 新治 (大東自治協力会会長、交通指導員)  | ◎原 英子 (民生委員・児童委員、交通指導員)    |
| ◎島田 信城 (浦和大東郵便局局長)        | ◎青木 香 (埼玉県立浦和西高等学校校長)      |
| ◎鈴木 和博 (さいたま市立木崎中学校校長)    | ◎大森 智香子 (大東保育園園長)          |
| ◎橋 清志 (PTA会長)             | ◎牧野 奈々 (PTA副会長)            |
| ◎濱田 裕美 (大東小学校金管バンド保護者会会長) | ◎小野 茂紀 (大東小学校学校開放運営委員会委員長) |
| ◎多田 嘉典 (校長)               | ◎鈴木 紘生 (教頭)                |
|                           | ◎高野 隆充 (学校地域連携コーディネーター)    |


以上のメンバーで1年間学校運営協議会を行っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

第1回は、学校運営に関する基本的な方針を承認していただきます。校長より「学校経営計画」「教育課程の編成」「組織の編成」「予算の執行」「施設及び設備の管理」について説明をし、すべて承認をいただきました。



## 熟議 ～エージェンシーを育む～

「エージェンシー」とは、多くの他者と協働して、自分の考えや行動で自分自身や世の中を少しでも変えようと行動する力のことです。不透明で予測困難な未来を生きる子どもたちに身に付けてほしい力と考えています。





よい本を読む運動推進委員会の読み聞かせ

昨年度の学校運営協議会では、「教育活動をより活性化するための地域・保護者ボランティア」について繰り返しお願いしました。昨年度は、新たに「賞状書きボランティア」「SoLa るーむ見守りボランティア」が実現しました。今年度も「図書ボランティア」に加えて、「さいたま市よい本を読む運動推進委員会」の皆様も朝の読み聞かせに参加してくださっています。学校運営協議会での熟議で子どもたちが学ぶ環境がよりよくなっています。感謝の気持ちでいっぱいです。引き続き、様々なボランティアの充実について委員の皆様と協議してまいります。

代表委員会の児童が「大東小学校のいじめ防止の取組」について発表しました。

- 代表委員会で話し合い、「ポスター」と「動画」を作るようになった。
- 「ポスター」をクラス一枚配付し、クラスごとに目標を立てて一週間取り組み、自分たちが目標を達成できているか、達成できていないか振り返り、よりよいクラスにする。
- 「動画」は、優しい言葉を使ってもらうことをテーマにし、言い方を工夫することで、みんながより心地よい生活ができるということを知らせる目的でつくる。
- 2学期の始めに REDS WAVE のラジオ放送で、大東小学校のいじめ防止の活動について伝えていきたい
- あいさつ運動などで地域の方や保護者の方にも協力・応援してもらい、よりよい大東小学校にしたい。

などと、力強く説明をしました。今後の取組の広がり、保護者の方、地域の方とのコラボに期待です。



いじめ防止の取組を説明する代表委員

今回は12月9日(火)です。今回は、具体的な方法、方策まで熟議する時間がありませんでした。「今回話題にあがったこと」「子どもたちのエージェンシーを育むために」という観点から、次回の熟議で引き続き話し合います。第2回では、さらに熟議を深め、大東っ子の「エージェンシー」の育成を目指して、学校、家庭、地域で取り組むこと等を話し合ってもらいます。